



2023年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニイタカ
コード番号 4465 URL <https://www.niitaka.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 野尻 大介
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 加藤 貴志 TEL 06 (6391) 3266
定時株主総会開催予定日 2023年9月22日 配当支払開始予定日 2023年8月10日
有価証券報告書提出予定日 2023年8月25日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期の連結業績 (2022年6月1日～2023年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	19,504	9.6	855	△53.2	886	△52.2	561	△54.4
2022年5月期	17,792	△3.5	1,825	△25.5	1,855	△24.7	1,231	76.6

(注) 包括利益 2023年5月期 613百万円 (△55.9%) 2022年5月期 1,390百万円 (56.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年5月期	95.13	—	4.4	4.0	4.4
2022年5月期	208.59	—	10.3	9.0	10.3

(参考) 持分法投資損益 2023年5月期 ー百万円 2022年5月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	23,568	12,967	54.6	2,179.33
2022年5月期	20,796	12,524	60.2	2,121.49

(参考) 自己資本 2023年5月期 12,865百万円 2022年5月期 12,524百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	1,080	△689	△91	6,745
2022年5月期	1,586	△615	△788	6,057

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年5月期	—	14.00	—	14.00	28.00	165	13.4	1.4
2023年5月期	—	32.00	—	32.00	64.00	377	67.3	3.0
2024年5月期 (予想)		22.00		22.00	44.00		38.2	

3. 2024年5月期の連結業績予想 (2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	12.8	1,000	17.0	1,010	13.9	680	21.1	115.19

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社（社名）PT. Niitaka Japindo Makmur、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期	5,943,052株	2022年5月期	5,943,052株
② 期末自己株式数	2023年5月期	39,612株	2022年5月期	39,592株
③ 期中平均株式数	2023年5月期	5,903,446株	2022年5月期	5,903,514株

(参考) 個別業績の概要

2023年5月期の個別業績（2022年6月1日～2023年5月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	18,359	8.8	997	△42.5	1,027	△42.1	715	△38.9
2022年5月期	16,867	△0.7	1,735	△16.0	1,774	△23.8	1,171	63.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期	121.18	—
2022年5月期	198.41	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	20,596	12,196	59.2	2,066.02
2022年5月期	19,557	11,725	60.0	1,986.14

(参考) 自己資本 2023年5月期 12,196百万円 2022年5月期 11,725百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策としての行動制限が緩和された結果、経済活動の正常化と回復の兆しが見られました。

しかしながら、地政学的リスクの高まりによる原材料価格の高騰、世界的な金融引締めに伴う影響による景気の下振れリスク、物価上昇の家計や企業への影響など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要顧客である飲食店や宿泊施設は、コロナ禍から平時への移行が進展する中、イベント需要の回復やインバウンド客の増加により、客数が回復している一方で、深刻な人手不足、原材料価格、光熱費の高騰など、厳しい経営環境が続きました。

このような状況下、当社グループは、新中期経営計画「NX2025」に基づき、感染対策用製品の開発及び拡販、人手不足に対応する製品の拡販、新規チャネルの拡大に注力いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、洗剤洗浄剤及び固形燃料などの伸長により、195億4百万円（前期比9.6%増）となりました。

利益につきましては、製品価格の適正化やコスト削減の取り組みを強化しましたが、原材料価格の高騰や物流費上昇の影響を大きく受け、営業利益8億5千5百万円（同53.2%減）、経常利益8億8千6百万円（同52.2%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、5億6千1百万円（同54.4%減）となりました。

当社グループは、業務用の化成事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の情報はありません。当社グループ製造品及び仕入商品などの売上高は、次のとおりであります。

<当社グループ製造品>（業務用洗剤・洗浄剤・除菌剤・漂白剤・固形燃料など）

アルコール製剤は、新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、一定の伸びで推移いたしましたが、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更以降、急速に需要が落ち着きつつあります。そのような中、新製品である洗浄・除菌・ウイルス対応アルコール製剤「ノロスターセキュアフォーム」の投入や官公庁やレジャー施設などへの新規チャネル開拓に注力いたしました。

洗剤洗浄剤は、トイレ用洗剤「ノロスタートイレクリーナー」、医薬部外品手洗い液「Nスター薬用ハンドウォッシュVA」など感染対策用新製品を中心に顧客のニーズに沿った製品・サービスの提案を行ったこと、また人手不足に対応した厨房用洗浄剤「ケミファイブイックすすぎ」など製品の提案を行った結果、売上は増加いたしました。

固形燃料は、旅館やリゾートホテルなどの宿泊者数が増加したことで、売上は増加いたしました。

その結果、当連結会計年度の当社グループ製造品売上高は、150億7千4百万円（前期比5.8%増）となりました。

<仕入商品等>

当連結会計年度の売上高は、44億2千9百万円（同24.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

	前期	当期	増減
総資産（百万円）	20,796	23,568	2,771
純資産（百万円）	12,524	12,967	443
自己資本比率	60.2%	54.6%	△5.6
1株当たり純資産（円）	2,121.49	2,179.33	57.84

前連結会計年度末と比較して総資産は27億7千1百万円増加し、純資産は4億4千3百万円増加しました。この結果、自己資本比率は5.6ポイント減少し54.6%となりました。増減の主なものは次のとおりであります。

流動資産では、現金及び預金が6億8千8百万円、受取手形及び売掛金が4億3百万円それぞれ増加しております。

固定資産では、建物及び構築物が4億8千2百万円、のれんが2億8百万円それぞれ増加し、投資その他の資産その他が2億2千9百万円減少しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が1億8千8百万円、電子記録債務が6億7千4百万円、未払金が10億2千万円それぞれ増加し、未払法人税等が1億7千1百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が4億7千1百万円増加しております。

(3)当期のキャッシュ・フローの概況

(百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,586	1,080	△506
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615	△689	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△788	△91	697
現金及び現金同等物の増減	303	308	5
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減	—	379	379
現金及び現金同等物の期末残高	6,057	6,745	688

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金といいます。）の期末残高は、前年同期より6億8千8百万円増加し、67億4千5百万円となりました。主な内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、10億8千万円（前期比31.9%減）となりました。主には税金等調整前当期純利益が8億9千8百万円、減価償却費が5億7千3百万円あった一方で、法人税等の支払額が5億6百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、6億8千9百万円（前期比12.1%増）となりました。主には子会社株式の取得による支出が5億8千万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、9千1百万円（前期比88.4%減）となりました。主には長期借入れによる収入が10億円あった一方、長期借入金の返済による支出が8億1千6百万円、配当金の支払額が2億7千1百万円あったことなどによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
自己資本比率 (%)	56.8	59.4	55.2	60.2	54.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	49.3	121.7	76.4	62.2	50.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.8	1.1	1.4	1.9	3.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	126.3	177.8	211.7	152.1	124.3

1. 自己資本比率：自己資本/総資産
2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産
3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー
4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により計算しております。

2. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4)今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な金融引締めに伴う影響や物価上昇による家計や企業への影響が、不透明な状況ではありますが、新型コロナウイルス感染症の対策としての行動制限が緩和、政府による経済対策により景気の回復が見込まれます。一方で、原材料価格、物流費の高騰など引き続き、当社を取り巻く事業環境は未だ予断を許さない状況です。

このような状況下、当社は経済活動の正常化や原材料価格の高騰など予想される外部環境変化に対応した経営戦略の更新を適宜行ってまいります。

当社グループの主な顧客である飲食店や宿泊施設の稼働において、経済活動の正常化やインバウンド客の増加などによって、徐々に回復すると見込んでいます。

以上の前提にしたがって検討した結果、連結業績予想値は、売上高220億円(前期比 12.8%増)と予想しております。

利益に関しましては、上記の売上高予想をもとに、営業利益10億円(同 17.0%増)、経常利益10億1千万円(同 13.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億8千万円(同 21.1%増)と予想しております。

原材料価格の高騰により、利益率の低下が想定されます。またアルコール製剤については感染症対策の需要の落ちが見込まれます。

そのため、洗剤洗浄剤及び固形燃料などの販売拡大に加え、製品価格の適正化、コストの削減などに取り組み、影響の最小化に努めてまいります。

なお、今後の世界経済の動向や地政学的リスクの高まりにより、予想の前提と異なった状況が生まれ、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(5)利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は利益分配に関する基本方針を変更し、将来の企業価値を高める事業戦略に必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%以上もしくは株主資本配当率(DOE)2%のいずれか高い金額を目安に配当を継続的に実施することといたしました。

当期の配当金につきましては、期末は1株当たり32円とし、通期で1株当たり64円を予定しております。

また、次期配当金につきましては、中間配当金22円、期末配当金22円とし、年間配当金44円を予定しております。

株主の皆様に対する利益還元を図ることにより当社株式の市場価値を高めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在日本国内での活動が主であることから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、国内他社のIFRS採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,057,120	6,745,342
受取手形及び売掛金	2,916,729	3,319,773
電子記録債権	1,108,249	1,220,239
商品及び製品	858,442	1,107,582
仕掛品	34,054	265,582
原材料及び貯蔵品	526,452	690,278
その他	108,097	329,252
貸倒引当金	△4,825	△9,599
流動資産合計	11,604,321	13,668,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,152,352	9,360,003
減価償却累計額	△4,931,183	△5,656,677
建物及び構築物(純額)	3,221,169	3,703,326
機械装置及び運搬具	6,855,330	7,147,337
減価償却累計額	△5,981,506	△6,327,572
機械装置及び運搬具(純額)	873,824	819,764
工具、器具及び備品	829,772	922,315
減価償却累計額	△712,953	△805,004
工具、器具及び備品(純額)	116,819	117,311
土地	2,996,507	3,089,628
リース資産	30,063	30,304
減価償却累計額	△17,366	△21,316
リース資産(純額)	12,697	8,988
建設仮勘定	286,924	344,187
その他	6,026	6,026
有形固定資産合計	7,513,969	8,089,232
無形固定資産		
のれん	-	208,845
ソフトウェア	190,248	102,865
その他	70,580	72,256
無形固定資産合計	260,828	383,966
投資その他の資産		
投資有価証券	305,021	359,790
繰延税金資産	484,152	566,628
その他	737,387	507,516
貸倒引当金	△109,635	△7,555
投資その他の資産合計	1,416,925	1,426,380
固定資産合計	9,191,723	9,899,579
資産合計	20,796,044	23,568,032

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	982,717	1,171,585
電子記録債務	1,559,854	2,234,262
1年内返済予定の長期借入金	766,250	677,464
リース債務	3,778	3,893
未払金	312,561	1,332,915
未払法人税等	236,532	65,145
その他	570,458	601,108
流動負債合計	4,432,153	6,086,374
固定負債		
社債	-	25,000
長期借入金	2,291,050	2,762,166
リース債務	8,246	4,773
退職給付に係る負債	1,406,477	1,485,701
繰延税金負債	19,365	14,493
その他	114,615	222,257
固定負債合計	3,839,754	4,514,392
負債合計	8,271,907	10,600,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,199	585,199
資本剰余金	595,337	595,337
利益剰余金	11,085,292	11,375,112
自己株式	△51,201	△51,249
株主資本合計	12,214,627	12,504,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,687	77,707
為替換算調整勘定	263,822	283,434
その他の包括利益累計額合計	309,509	361,141
非支配株主持分	-	101,722
純資産合計	12,524,137	12,967,265
負債純資産合計	20,796,044	23,568,032

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
売上高	17,792,438	19,504,189
売上原価	10,500,124	12,818,326
売上総利益	7,292,313	6,685,863
販売費及び一般管理費	5,466,970	5,830,850
営業利益	1,825,342	855,012
営業外収益		
受取利息	10,826	10,140
受取配当金	8,040	9,057
受取賃貸料	44,987	44,456
売電収入	8,534	6,679
その他	12,270	18,269
営業外収益合計	84,659	88,604
営業外費用		
支払利息	10,483	8,736
創立60周年関連費用	-	14,857
賃貸収入原価	28,825	26,497
売電原価	5,698	5,681
為替差損	4,260	868
貸倒引当金繰入額	4,119	9
その他	1,101	1
営業外費用合計	54,488	56,652
経常利益	1,855,513	886,965
特別利益		
投資有価証券売却益	-	10,098
固定資産売却益	8,866	254
補助金収入	-	40,468
その他	-	293
特別利益合計	8,866	51,114
特別損失		
固定資産除売却損	-	633
子会社株式評価損	55,625	-
固定資産圧縮損	-	38,824
特別損失合計	55,625	39,457
税金等調整前当期純利益	1,808,754	898,622
法人税、住民税及び事業税	535,485	330,051
法人税等調整額	41,859	6,986
法人税等合計	577,344	337,037
当期純利益	1,231,410	561,584
親会社株主に帰属する当期純利益	1,231,410	561,584

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
当期純利益	1,231,410	561,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,159	32,019
為替換算調整勘定	191,584	19,612
その他の包括利益合計	159,424	51,632
包括利益	1,390,834	613,217
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,390,834	613,217
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年6月1日 至2022年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	585,199	595,337	10,013,277	△50,953	11,142,861
当期変動額					
連結範囲の変動					—
剰余金の配当			△159,395		△159,395
親会社株主に帰属する当期純利益			1,231,410		1,231,410
自己株式の取得				△248	△248
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,072,014	△248	1,071,766
当期末残高	585,199	595,337	11,085,292	△51,201	12,214,627

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	77,847	72,237	150,085	11,292,946
当期変動額				
連結範囲の変動				—
剰余金の配当				△159,395
親会社株主に帰属する当期純利益				1,231,410
自己株式の取得				△248
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△32,159	191,584	159,424	159,424
当期変動額合計	△32,159	191,584	159,424	1,231,191
当期末残高	45,687	263,822	309,509	12,524,137

当連結会計年度(自2022年6月1日 至2023年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	585,199	595,337	11,085,292	△51,201	12,214,627
当期変動額					
連結範囲の変動			△205		△205
剰余金の配当			△271,558		△271,558
親会社株主に帰属する当期純利益			561,584		561,584
自己株式の取得				△47	△47
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	289,820	△47	289,772
当期末残高	585,199	595,337	11,375,112	△51,249	12,504,400

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	45,687	263,822	309,509	-	12,524,137
当期変動額					
連結範囲の変動					△205
剰余金の配当					△271,558
親会社株主に帰属する当期純利益					561,584
自己株式の取得					△47
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	32,019	19,612	51,632	101,722	153,354
当期変動額合計	32,019	19,612	51,632	101,722	443,127
当期末残高	77,707	283,434	361,141	101,722	12,967,265

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,808,754	898,622
減価償却費	617,135	573,015
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	35,052	20,681
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,683	△3,226
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△11,601	12,348
受取利息及び受取配当金	△18,866	△19,198
支払利息	10,483	8,736
固定資産除売却損益 (△は益)	△8,866	379
子会社株式評価損	55,625	-
為替差損益 (△は益)	△19	△12
売上債権の増減額 (△は増加)	△393,276	△234,098
棚卸資産の増減額 (△は増加)	110,592	△199,396
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38,710	4,809
仕入債務の増減額 (△は減少)	403,116	654,101
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△4,091	△63,254
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△195,310	△74,512
その他	1,254	△2,797
小計	2,376,955	1,576,199
利息及び配当金の受取額	18,866	19,198
利息の支払額	△10,436	△8,686
法人税等の支払額	△798,501	△506,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,586,884	1,080,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△613,790	△135,594
無形固定資産の取得による支出	△28,865	△6,217
有形固定資産の売却による収入	30,456	254
投資有価証券の取得による支出	△1,695	△1,757
投資有価証券の売却による収入	-	33,375
子会社株式の取得による支出	△48,411	△580,833
貸付金の回収による収入	31,010	520
その他	15,568	281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615,725	△689,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△625,280	△816,250
配当金の支払額	△159,395	△271,558
リース債務の返済による支出	△4,047	△3,947
その他	△248	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△788,971	△91,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	121,085	9,989
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	303,273	308,312
現金及び現金同等物の期首残高	5,753,847	6,057,120
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	379,909
現金及び現金同等物の期末残高	6,057,120	6,745,342

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、業務用の化成品事業を行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)		当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	
1株当たり純資産額	2,121.49円	1株当たり純資産額	2,179.33円
1株当たり当期純利益	208.59円	1株当たり当期純利益	95.13円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,231,410	561,584
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	1,231,410	561,584
普通株式の期中平均株式数(株)	5,903,514	5,903,446

(重要な後発事象)

該当事項はありません。